

■ 授業科目名

金沢学入門 2

■ 英文名

An Introduction to Study of Kanazawa 2

■ コーディネーター 人間社会研究域 歴史言語文化学系 木越 治
環日本海域環境研究センター 塚脇 真二

■ 開講学期・曜日時限

後期 月曜日 1限 B1教室

■ キーワード

金沢・地域・歴史・社会・文化・自然

■ 授業の主題

加賀百万石の伝統をいまに伝える金沢の町は、中世においては、「百姓の持ちたる国」と呼ばれ、一向一揆によって支配されていた町でもあった。本講座では、金沢のもつこうしたさまざまな性格に関して、歴史的な側面をふまえて、自然・社会・文化の各方面から考察し、新しい「金沢」像の構築にむけて学んでいきたいと思う。

■ 授業の目標

前期開講の「金沢学入門1」では金沢の歴史・文化・宗教等を中心に学んだが、今期は、地質学的な特質、都市学的な側面等もあわせ学びながら、世界に向けて発信していく21世紀の金沢の街の姿をさまざまに検討していきたい。

【各回の内容と担当者】

第1回 10月5日	ガイダンス	コーディネーター
第2回 10月19日	金沢の地盤と土木構造物(1)	高原利幸 理工研究域 環境デザイン学系
第3回 10月26日	金沢の地盤と土木構造物(2)	高原利幸
第4回 11月9日	金沢の歴史的資産を活かしたまちづくり(1)	小林史彦 理工研究域 環境デザイン学系
第5回 11月16日	金沢の歴史的資産を活かしたまちづくり(2)	小林史彦
第6回 11月30日	金沢市内の火山(1)	酒寄淳史 人間社会研究域学校教育系
第7回 12月7日	金沢市内の火山(2)	酒寄淳史
第8回 12月14日	金沢の国際化	越田曾登代 元財団法人石川県国際交流協会
第9回 12月21日	金沢の再開発—まちづくり	宮西幹男 都市環境マネジメント研究所
第10回 1月4日	金沢の雪	竹井 巖 北陸大学
第11回 1月18日	金沢の地質—2000万年前から現在まで—	塚脇真二 環日本海域環境研究センター
第12回 1月25日	日本海の海洋環境—最終氷期から現在まで—	塚脇真二
第13回 1月28日	金沢の生物(1)	水野昭憲
第14回 2月1日	金沢の生物(2)	水野昭憲
第15回 2月2日	期末試験	コーディネーター

■ 学生の学習目標

自分たちが現に住み、生活し、学んでいるこの金沢という地域について、諸君はすでに多くの情報を得ているはずである。特に、この町は行政レベルで観光客誘致に力を入れているということもあって、そうした面からの情報がたくさん入ってくる人が多いにちがいない。しかし、行きずりの観光客として接するのと、その土地に住んで生活してする場合とは、その土地に対する印象は大きく異なる。ことに、この地に生まれ育った人間において、そのギャップははげしい。そうした体験をふまえながら、外からの目、内からの視点をあわせ学びつつ、この町の、過去・現在・未来について考えていってほしいと思う。

■ 評価方法・割合の概要

学習態度（出欠等）・毎回の授業終了時に書いてもらうミニレポート・期末試験

■ 評価の方法

評価は学習態度（出欠等）と期末試験で判断します。

期末試験は、各回の講義担当者による1問1答式の問題（これはすべてに答えること）と、論述式の選択問題（2問を選択。この分は事前に公表）から成ります。

■ 評価の割合

学習態度 10% 期末試験 90%

■ テキスト・教材・参考書等

毎回、授業時に配付するプリント

■ オフィスアワー

メールによる問い合わせのみ

■ その他履修上の注意事項や学習上の助言

金沢の行事やイベント等に興味を持ち、参加したり調べてみたりしてください。また、街を歩いて、いろいろな人と触れ合い、様々なものを見聞してください。それらについても、随時報告してください（様式自由）。